

43 途上国での効率的な農産物・食品の供給体制の構築等 (ODA)

【2,805(2,780)百万円】

対策のポイント

世界の食料安全保障の確保に貢献するため、途上国におけるフードバリューチェーンの構築や飢餓・貧困対策の支援、気候変動や越境性感染症等地球規模の課題に対応するための国際協力を実施します。

<背景/課題>

- ・世界の栄養不足人口が約8億人である中、食料の生産拡大など農林水産業への支援を通じた飢餓・貧困対策が重要です。
- ・生産・加工・流通・消費の各段階における付加価値を向上させ、その価値をつなげていく「フードバリューチェーン」の構築を通じて、所得の向上やフードロスの削減を図ることの重要性への認識が高まる中、先進的な技術を有する我が国食産業の海外展開と連携し、途上国のフードバリューチェーン構築を支援することが必要です。
- ・また、気候変動や越境性感染症などによる農林水産業への悪影響等が懸念される中、これらの地球規模の課題に対応するための国際協力も必要です。

政策目標

- 途上国での効率的な農産物・食品の供給体制の確立の推進
- 飢餓・貧困対策への貢献
- 気候変動や越境性感染症等地球規模の課題への適切な対応

<主な内容>

1. 途上国におけるフードバリューチェーンの構築支援

1,206(941)百万円

- (1) フードバリューチェーン構築に係るニーズや技術的課題の分析、課題解決に向けた検討・実証プロジェクト等、国際機関と民間企業等が連携して実施する取組を支援します。
- (2) 途上国における新品種の導入、農作物生産における効率的な技術、食品の加工・流通段階の品質・安全性の確保等、我が国が有する優れた技術を途上国に導入・活用する取組を支援します。
- (3) 途上国におけるフードバリューチェーン構築を主導する人材や、我が国の食産業が海外展開する際のカウンターパートとなる現地の人材の育成を支援します。
- (4) アジア各国の食品安全等に係る基準策定能力の向上や国際基準への調和を支援することにより、我が国関連産業のビジネス環境整備を推進します。

(事業実施主体：FAO(国際連合食糧農業機関)、ASEAN事務局、民間団体等)

[平成27年度予算概算要求の概要]

2. 飢餓・貧困対策への貢献 347(441)百万円

- (1) 平成30年までにアフリカのコメ生産を倍増(1,400万t→2,800万t)すべく、稲作生産基盤の復旧や現地に適した水稻栽培技術の実証・普及等を支援します。
- (2) アフリカにおけるイモやマメの増産のため研究開発・技術普及を支援します。
- (3) 国際的な研究機関と連携し、途上国における農業研究者の能力向上を図ります。

(事業実施主体：WFP(国連世界食糧計画)、UNU(国際連合大学)等)

3. 気候変動や越境性感染症等地球規模の課題への適切な対応

1,252(1,398)百万円

- (1) 気候変動等への対策として、違法伐採の防止や持続可能な森林経営のための取組を支援するとともに、気候変動に適応した灌漑水管理・施設整備等の取組を支援します。
- (2) アジア各国において獣医組織の能力強化等を行い、口蹄疫、鳥インフルエンザ等の越境性感染症対策を推進します。
- (3) 途上国や地域漁業管理機関と協力し、マグロ等水産資源の持続的利用を推進します。
- (4) 東アジアにおける大規模災害等の緊急時に備えるためのASEAN+3による緊急米備蓄の体制確立への貢献及びその取組を支援します。

(事業実施主体：OIE(国際獣疫事務局)、ASEAN事務局、民間団体等)

[お問い合わせ先：大臣官房国際部国際協力課(03-3502-5913)]